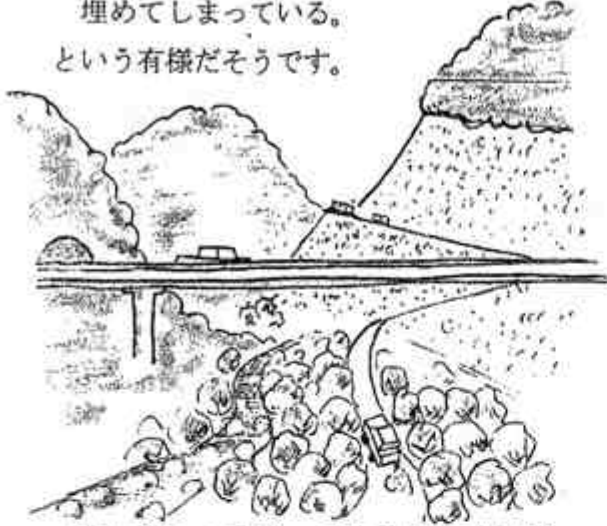


(1) 中山台からの通り抜けの車が激増している。ゴミも投げよる。

(2) こころない工事の結果と思われますが、崩れて出来た土砂・泥が小さな谷を埋めてしまっている。という有様だそうです。



涼しくなってから、またみんなで現地を見に行つてはどうでしょうか？ 今、日本の川は、上流の見えにくいところから殺されつつあり、それがやがて、下流に及び、我々や、後の世代の首を絞めてゆくでしょう。どうしたらよいのでしょうか？

まだ元気やで・・・

川沿いには元気でがんばっている木々もありました。ちょっと風変わりなのは

(1) ムクロジ(雌株)

去年秋に熟した実の果皮が剥けて、羽子板あそびの羽根の黒い玉に使う実が拾えました。

(2) シラキ

「青い」実がいっぱい、ぶら下がっていました。その形から見て、三つに爆ぜるのではないか？と思い、帰ってから図鑑\*を見ましたら当たっていました。写真によれば、丸い実はきれいな斑入りのようです。

\*山溪ハンディ図鑑4「木に咲く花 離弁花2」,p194-195.

(3) ダイオウショウ(大王松)

アカマツ、クロマツの葉は短枝の先に2本、ゴヨウマツは5本付きますが、これは3本付いています。

以上再訪される方の参考まで・・・

7月7日

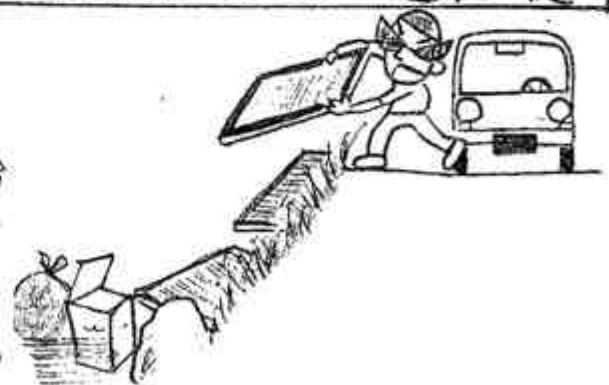
芋生川ゴミ拾い

だれがゴミを投げるんだらう？

清和台南小、5年 辻本 健

今日 芋生川の掃除をした。ぼくはあまりしないで 妹とジャコとりをしていた。芋生川には たくさんのゴミが捨てられていた。ぼくは「だれがこんなにゴミを投げるんだらう」と思った。

掃除が終わると 皆で少し上の方にあがって 低い滝のところに行った。滝ツボで平田さんとお父さんが 泳いでいた。ぼくは 少しだけ 泳いだけど、プールと違って底が見えないから とってもこ



わかった。

掃除は大変だったけれど、滝ツボは楽しかった。「また 今度 行きたいな」と思った。

清和台幼稚園 年中 辻本まり子

川はゴミが いっぱいで、はやくお家に帰りたいなとずっと考えていました。でも、ジャコやかたつむりとあそべて川は たのしかったです。



7月7日、アホになって、芋生川のゴミ拾いをした。リーダー 澤山輝彦

ゴミ拾いの結果：集めたゴミは袋に48・たたみ6畳・ゴミ、空き缶入り塗料缶23個・ブロック、木材片など建材3山・自転車・エアコン3台・ガスコンロ・ふとんなどであった。

『芦田川』という古い本を買った。この本の編集者は「—良い子は、川で遊ばない—近時ライオンズクラブの標識ではないが、当時の子供たちはそれしか遊び場所のなかった、河原や堤防近くの山野で、幼な友達に魚や鳥、けだものらと、自由奔放に遊んでいた。それが近年急速な河川改修工事により様相も一変、昔の面影はなくなったと、著者はなげく。……後略」とあとがきに書いている。一昔も二昔も前の話なのだが、当時でこうだから、現状は言うまでもないだろう。

猪名川とその支流を活動範囲に持つ川西自然教室は子供たちのために“川遊び”を呼びかけている。新住民である私はこれらの川の首を知らないが、まだ入って遊べる所があるのはわかる。そこへ子

供たちを誘い、川遊びを教えようというのだ。行事に参加した子供のすべてが、将来この経験を引き継いで行くとは限らない。子供たちにはこれからもっともっとうろんなことが待ち構えているのだから。だが“川遊び”を実施する自然教室のリーダーには、自分の少年期の体験にひかれて行動している気配が多分にあるようだ。このことから推しはかれば、“川遊び”に子供を誘う意義は大きい。

ところがそんな“場へゴミを捨てる馬鹿野郎がいるのだ。巨悪・凶悪をやっつけるのは当然だが、公権力はこういう小悪も強かに摘発しなければならぬ。念のために“摘発”の意味を新明解国語辞典によって記すと、摘発=こっそりやっている悪事をみつけ出して、世人の前に公表することとある。公表だけでは生ぬるいのだが。

川がきれいになって、“川遊び”を教わる子供はいれど、野遊びや川遊びを見向きもしない子供たちの存在が問題だ。

またそんな子供たちを不憫とも思わない社会の在り方に問題がある。夜遅く塾から帰る子供たちを電車の中でよく見たが殆どの子供の行儀が悪かった。こういう子供たちがいわゆる勉強を勝ち抜き社会へ出れば、きっと反自然的で完璧な護岸工事などを設計、施工指導をするのだろう。考えすぎか。

こんな社会は病んでいる。病気を治さなくては、本質は改善されない。だがゴミ捨て野郎も含めてこの病気をなおす特效薬はない。異常人気の“小泉英風製薬”でも特效薬は作れない。作れば私は株を買ってやる。だからこそ、徐々になおさなければならず、そのために漢方薬のような働きをしているのが川西自然教室の“川遊び”“野遊び”であり“ゴミ拾い”なのだ。

「それで、あんたは一体何をしてん」と問われれば、私は表題のことをしたと答える。“アホになる”これが案外身近



で効く薬なのだ。「なんて他人が不法に捨てたゴミの始末を俺がせんならんねん」いつもそう思っている私には、アホになるのは難しいところもある。「アホにアホ言うもんかアホヤ」子供の時こう言って嘲したことがある。ならば「ゴミを捨てた奴はアホヤ、私は奴をアホとものしりつつゴミ拾いをする。そんなら私はアホヤ」となる。私はアホになって社会の病を改善する薬を他人の尻に塗ったことになるのではないか。

一週間後の現場にはまたつきのゴミだ。馬鹿につける薬は無いのか。私の薬は効かなかったのか。だがお灸はすえられる。早く熱い大きなお灸をすえてやりたいものだ。

## 「川西最後の清流」芋生川があぶない! リーダー 平田 信浩

芋生川との出会いは1982年。今から19年前の夏のことだ。当時、6月中旬より、産休先生として多田小学校に勤務していた。夏休みを迎えた頃、表向きは研修の勉強しせず「校区内をさっさと知っておくことが教員として大切なことだ」と勝手な理由をつけ、自転車でブラブラ走りまわっていた。校区内に芋生・石宮という農村地帯があることを聞いていたので、ハンドルは勝手にそっち

の方へと向いていた。

まだけやき坂への上りの道がなかったと思うのだが、芋生川沿いの谷道へ入ったとたん、ヒーッと風が変わるの効力は地変だった。谷には清流が流れており、ジャコかつジャウジャレた。

“清流を見るとすぐ飛び込みたくなる”クセのある私は、さて、どこからおりて飛び込んでやるうかと、上流に向かってペダルをこいでいると、ま

く、いいところが見つかった。高見坂釜下の滝つぼである。自転車を置いておりていくと「遊泳禁止」の看板がかかっていた。

川で遊ぶことの是非については、着任した後の職員会議で、「川や山や池で遊んではいけない」という「夏休みのきまり」はオカシイ！と、一人、こねたのだが、認めてもらえなかった。

さて、そんなことも思い出し、産休先生とは言え、一応、この校區の先生なのだから、「きまり」は守らないとダメだと思い、飛び込みたのりをグブッとおさえ、水を触ってガマンした。その水の清らかさには、学生時代から行き続けている仙馬・氷ノ山の麓、美濃郡美濃町を貫流する矢野川の清流が重なった。大阪のベッドタウンの川にこんなきれいな清流が残っているということに、あらためて感動した。

翌春、川西小学校に転任してからは、長い間、芋生川へ行くことがなかったが、1986年秋に平野に住むようになってから、時々出かけていた。そして翌7年夏には、ついにあの滝つぼに飛び込んだのであった。その日は、他に、けやき坂直下の支谷で水浴び、若宮地区上流の砂防ダムで飛び込みと、実に3ヶ所まで涼ませてもらった。

さて、7月12日朝、けやき坂に仏参に行く途中、7日のゴミが気になるので芋生川に寄ってみた。大半は処理されていたが、ぬれ縄やパンキ岳、ブロック等はまたそこにあった。多すぎて積みきれなかったのだろう。ゴミがなくなって、きれいに

なった川底を見ようとして近づいて愕然とした。水が濁っているのである。芋生川は少々の雨では濁らない川だと信じていたのに……。頭に尻尾トンネルのことがきんできたので、単車にまたがり、上流に向った。

芋生の村を過ぎ、けやき坂直下の階段のところへ子ども達がよくジャコトリをして遊んでいる一角は濁茶色に濁っていた。川底の石にうっすらとドロがへばりついて「川底が死んでいる」(横留條氏語録)状態になってしまっている。

若宮の村を越え、クジャクヒバの植林地の中に棚状の赤土地帯を見つけるが、それより上流も水は濁っていたので、ここだけが原因ではない。さらに上ると、トンネルへの音階橋の下あたりに、かつて飛び込んだことのある砂防ダムがあり、その木面が目に入って、ビックリ！なんと黄土色ではないか！変わり果てた水の色に心を痛めて、茫然としている間に教台の車がすれちがって行った。本当に車の台数が増えている。この地点までで5台以上と出会っただろう。今まで、そんなにも交通量はなかったように思うが、これもトンネルの影響なのか。

更に上流に向くと、西谷地区へ向う細い道は姿を消し、普通道路のようになりっぱなしの切り通しに出た。原因はここだ！この切り通しの西斜面の赤土が、昨夜の雨で流れ出たのだ。車はまだ全面には昇ってみらず、土は流れやみ、状態である。

ワキ道に入って、橋の上から川底を見たら、あわれなことに、最上流であるのに「川底は死んでいた」。粘土で厚く覆われているのだ。やがてはこの粘土が芋生川全体の川底を覆いつくし、芋生川を「死の川」にしてしまうかもしれない。

「川西最後の清流」をそうはさせたくない。早く手を打たねば……。そこで以下のような要請書を市に提出した。

市がどう対応してくれるか気になるころだが、



◎としては、早くギックリ腰を治し、お盆・お施  
飯廻をおえることができれば、また皆さんに呼び

かけて芋生川のゴミ拾いをしたいと考えています。  
また、その時はご協力よろしくお願 致します。

平成13(2001)年7月26日

川西市長 柴生 進 様

## 「川西最後の清流 芋生川」を守るための要望書

川西自然教室

代表 倉野 剛

日ごろは何かと川西自然教室の活動にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。

さて、川西自然教室で去る7月7日午後より芋生川のゴミ拾いを行いました。芋生川はゲンジボタルも数多く生息する「川西最後の清流」と呼ばれるのにふさわしい美しい流れでした。しかし、近年、ゴミの不法投棄が目立ち、特に長尾トンネル開通後、その量は急増しています。7月7日のゴミ拾いでばね置6枚、エアコン3台、ペンキの1斗缶23個、ブロック破片多数等と住宅の改装にともなうようなゴミ類が目立っております。また、カン・ビン・弁当ガラ・家庭ゴミなどが、川や道端に散らし、異臭を放っております。かつての清流は、ありとあらゆる種類のゴミ捨て場と化しつつあります。

それに加えて、水の濁りが目立ってきました。原因は最上流部分の切り通しです。多量の土砂が川に入っています。雨が降れば切り通しのハダカ地の部分から土砂・泥がずずられて、川に流れ込んでいます。上流部にある橋から川底をのぞいて見ると、川底の岩・石にはベトトリと泥がへばりついており、いわゆる「川底が死んだ状態」になっております。

この影響は既に芋生川全域に及んでおり、この水の濁りが、川に対する無関心さを高め、平気でゴミを放る要因にもなると考えられます。この状況をそのまま放置すれば、ますますひどくなり、清流は普通話になってしまうことでしょう。私達、川西自然教室もゴミ拾いや自然観察という活動を通して、微力ながら、芋生川の保全に取り組みていくつもりではありますが、どうか市としても「川西最後の清流 芋生川」を守るため ご協力 いただけないでしょうか、以下、具体的に記します。

- ① 私達、川西自然教室といっしょに 芋生川を見てもらえませんか。
- ② 最上流部の切り通しの裸地の部分の早急なる緑化(在来種による)をお願い致します。
- ③ 上流部にある砂防ダムを利用した泥水浄化システムを作って下さい。
- ④ ゴミを放れなくするように川沿いにフェンス・ネットを張って下さい。
- ⑤ 監視カメラを設置して下さい。
- ⑥ パトロールを強化して下さい。
- ⑦ 今の芋生川そのままを「芋生川ジャコとリランド」と銘打って、警備員やプレーリーダーを雇い、子ども達が「ジャコとり」体験、「川遊び」体験のできる場にしてみてはどうでしょうか。そのことによって、人々の関心が芋生川に向き、川を守ってこういう気持ちが増えてくるはずで。

上記の件につきまして、1度、話し合いを持っていただければと考えています。こうしている間にも、またゴミが捨てられ、よごされていっていると思うと、心はあせるばかりです。たいへんお忙しいこととは存じますが、早急にお返事いただきたく存じます。以上、よろしくお願致します。

他  
情  
報

## 猪名川のゴミを拾う会

8/19(日)

中止

AM 8:30 ~

清和苑入口付近

① 宮崎  
94-3495

-13-

猪名川の  
景観を守る会  
8月  
は お休みです

ゲンジボタル発見頭数の推移(94年～2001年) 川西自然教室

No	地名	94年	95年	96年	97年	98年	99年	00年	01年
1	野間川	2	60	24	100	131	98	106	220
2	田尻川	120	19	66	22	68	140	159	325
3	黒川キャンプ場内	7	50	337	438	186	74	198	457
4	黒川(支流含む上流)	46	78	207	234	239	209	160	518
5	保の谷	0	0	4	10		0	0	未
6	大路次川(龍化地区)	5		20	92		78	88	115
7	一庫大路次川(ダム～一庫新橋)	11	12	7	31	0	3	1	0
8	一庫大路次川(一庫新橋～東中橋)	41	40	26	51	12	17	14	14
9	一庫グリーンテニス下～北陵高校	42	110	87	91	23	73	84	75
10	一庫地区内	7	53	12	2	0	5	4	4
11	山原地区内				17	1	3	5	5
12	初谷川(含む支流、合流点・笹部地区内支流含む)	38	33	128	30	61	170	57	104
13	一庫大路次川(慶昌寺～文殊橋)	9	1	9	3	0	18	20	5
14	東畦野内(川西ゴルフ場植用水路～文殊橋付近)	25	11	6	25		3		未
15	石道地区(猪名川本流、支流含む)	120	169	228	180	33	83	73	156
16	野間川(猪名川合流点まで)	2	15	20	27	0	2	6	0
17	猪名川(野間川合流点～ゴルフ橋)	6	6	135	36	6	13	6	3
18	一庫大路次川(文殊橋～ゴルフ橋、支流含む)	5	0	14	19	1	7	3	3
19	猪名川(ゴルフ橋～多田大橋)	2	1	17			0	2	2
20	赤松地区内	25	13	13	8		2		22
21	柳谷川(全)	8	11	9	18		62	6	10
22	芋生川(全)	14	70	1038	143	0	7	71	232
23	多田院地区内				10	2	0	2	2
24	猪名川(多田大橋～銀橋)	3			10		2	52	11
25	西多田地区内		10	56	15	2	6	53	64
26	塩川(一の鳥居以上)		135	27	8	3	4	6	6
27	塩川(一の鳥居～平野駅北)	1	46	10		0	2	12	0
28	塩川(平野～合流点)	7	21	33	105	7	14	8	43
29	平野(岡本寺裏)	4	17	41	16	10	10	38	8
30	東多田地区内	18	74	71	61	10	19	32	30
31	矢間川(湯山台北)	0	0	4	0		0	0	
32	矢間川(湯山台南)		38	10	15			2	
33	矢間川(湯山台より下流)				26			9	1
34	酒願寺付近	2	24	27	58		24	32	11
35	最明寺川(含、寺畑前川)	7	15	44	29	2	10	9	5
	合計	577	1132	2730	1930	797	1158	1318	2451

未…未調査

6月5日 リーダー  
寺畑前川メダカ一時保護 メダカはコンクリート底が嫌い 平田信活

梅雨入りの発表のあった6月5日。バケツとアミを持ってメダカ救援隊3名は、本降りの雨の中寺畑前川(以下「前川」)の中へ入っていった。三面張りの前川のどこにメダカがいるのかと、探したして間もなく、前川に流れ込んでくる用水路との合流点にオオカナダモが生えているところが

あり。アミを入れてみるとおなじカサパンパンにくらんだメダカが! 尾とれた。急に元気が出てきた。さらにコンクリート三面張りの前川の川底と上流に向かって進んだ。

しばらくすると、川一面にオオカナダモが生え、白い小さな花が咲きみだれているところに出

た。小さなコバルトブルーのイトトンボが無類に  
 乱舞している。おそろおそろオオカナダモのジャ  
 ングルの中へ足を入れてみた。ロングサイズの長  
 グリがブクブクとしずみ水が浸入してきた。底は  
 砂か泥か？やわらかい。あまり長くはない(首)の  
 足の<sup>ひ</sup>のツノ根まで水は達し、パツパツがめれた  
 した。

しかし、そのオオカナダモ・ジャングルをよく  
 見れば小さな小さなメダカの赤ちゃんがウジャウ  
 ジャいるではないか。熱帯魚用の小さなアミです  
 ぐうとおもしろいほうにとれた。オオカナダモが  
 すいているところには親メダカもあり。タモ網で  
 すぐうと何度か二回とれた。また、同時にあか  
 り黄緑色のイトトンボのヤゴもいっしょに入っ  
 てくる。つかまえたメダカやヤゴをバケツにいっ  
 しょに入れておくと、ヤゴはメダカの赤ちゃんさ  
 とって食べているようなので~~養殖~~養殖はセッセと  
 ヤゴを川にもどす作業を始めた。浅田さんは隠ま



で水につかりながら小さな飼育ケースで赤ちゃん  
 メダカをすくい取っている。通行人はこの雨の中  
 中、何をしているんだらうとのぞき込む。

「何とってはいますの?」「メダカです。」「  
 へー、こんなところにメダカがいてんのー。」  
 と皆おどろいてくれる。無知の小学生が通っ  
 たので「メダカいる?」と声をかけると「ちょう  
 だい」。これで1人里親ができた。前川のすぐ  
 横に家があるので故郷からあまり離れずくらせる。  
 その子のお母さんがあつあつの昆布茶を入れて来  
 てくれた。雨の中1時間ほど水につかって身  
 が冷えさっていたのでありがたかった。ごちそう  
 さまでした。

寺田前川のメダカはどこから来たのか分からな  
 いかいけど、寺田前川に住みつき繁殖している。メ  
 ダカ救済の目的はこの寺田前川に住みついで  
 るメダカを絶滅させないこと。そのために河川改  
 修の工事に入る前にこうやって捕獲し、それぞれ  
 家庭に持ち帰り飼育する。そして工事が終了し条  
 件がととのったならば、メダカを前川にかえして  
 やるのだ。

川西市内でメダカがいるところはない。メイ  
 ドイン・カワニシのメダカをたやさないように  
 皆さんの御協力をお願い致します。

コンニャク橋たもとのグワの実が熟し、ムクノキもあずき粒ほどの青い実をつけている。

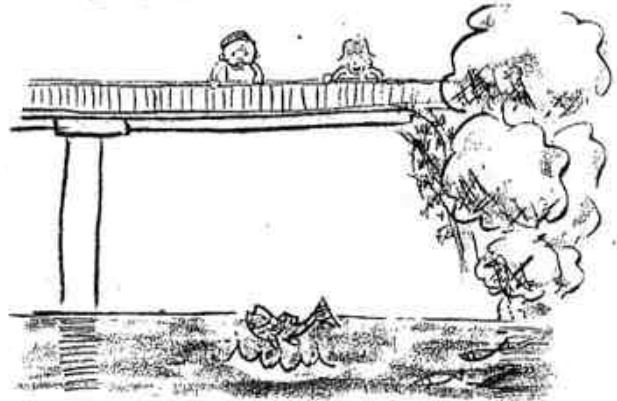
下流の工事も今はちょっとひと休み。しかしまたこの10月から橋のかけ替え工事が始まる。橋のデザインとか、地元の人達の思いや要望な

どは猪名川クラブが99年に開催したワークショップの中で話し合われ、県に提出した。その作業を通じて、この辺りの風景や生き物たちに癒され愛着を持っておられる人達がとても多いことも改めて知ることができた。△

△けれど、これらの住民の声をどれだけ生かしてもらえるのか、とても不安な気もしている。これまで私達(景観を守る会)と話し合いを重ねてきた兵庫県西宮土木伊丹出張所がこの4月から宝塚へ移転し、名称も宝塚阪神景観局となり、所長さんも替わられたので、過日、挨拶も兼ねて話し合いに行ってきた。

① 先の工事ですっかり切られてしまった右岸の竹林の復元について——計画図面ではかなり広い区域が復元されることになっている。しかし、実際の現場を見るとあんまり良い状態ではない。それで私達は行政が主体性をもって復元することを地域住民にしっかりと示してほしい。具体策として現場にサクを設け看板を立ててほしいことをお願いした。私達もずっと見つづけていかなくてはと思っている。

② 今度のコンニャク橋架け替え工事で、橋のたもとの雑木が3本を残して切られコンクリートで固められることについて——3本だけ残すことになっているができればもっと残してほしい。コンクリートでなく、もう少しソフトなものにしてほしい こと等お願いしたのだが、条件的にととてもむずかしい所だそうで、コンニャク橋と壺川橋にはさまれており、水当りも強く泊水面から強固な構造物で固めないといけないのだそうだ。こう言われると私達おはちゃん達は専門的なことには全く弱いので、納得は



出来ないのであれと反論する言葉が見つからず、不完全燃焼のまま帰ってきた。

国は氾濫を前提にした洪水対策とか、川にだけ絞る時代は終わったと言っているのに、地方ではまだまだ総合的な治水対策がなされていない。

私達が特にここにこだわるのはカワセミをはじめたくさんの小鳥たちの棲み家になっていること。夏には水面に木陰をつくり魚の休息場所になっていること。それを見て橋を通る人達が安らいていること。また水質や水温などにも良い効果がありそうなことなど、多様な生態系の維持のためには必要であり、この下流域では自然らしい自然はここを残すだけとなっているからだ。

会を発足して5年。年々生き物たちの数や種類が減ってきている。工事の終わったダイエー裏でははっきりと生き物が単一化しつつある。このままで良いのだろうか、自分の熱意と力のなさを自省している。そしてやはり、今こそみんなの知恵と力が必要なんだと痛感している。



読売新聞(朝・夕刊)  
平成13年7月7日(金)14版2面

### 大和川の水質 2年ぶりワースト1

河川調査  
昨年

国土交通省は7月6日、二〇〇〇年に実施した全国一級河川の水質調査結果を発表した。昨年ワースト2だった大和川(奈良大和)が二年ぶりにワースト1に、猪名川(大阪兵庫)も三年ぶりにワースト1となった。百九水系千九十四地点で調査。BOD(生物化学的酸素要求量)や環境基準を越えた地点は83%と前年(82%)並みだった。

大和川は、年平均BOD値が一昨当たり六・七ミリ・リットルより〇・五ミリ・リットルに低下した。しかし、前年ワースト1だった綾瀬川(埼玉)が大幅に改善した。逆に、ワースト1は二〇〇〇年より四割目になる。

近畿地方整備局管内(近畿一府四県)福井県では、環境基準を満たしたのは7%で、前年より3割減った。最も悪化したのは北川(福井)で、二〇〇〇年連続。年平均BODは〇・六ミリ・リットルと、全国でもベストだった。

神戸新聞(朝・夕刊)  
平成13年7月7日(金)14版3面

### 河川水質基準 達成率は83%

国土交通省は26日、国が管理する河川の二〇〇〇年水質状況をまとめた。生物化学的酸素要求量(BOD)など生活項目の環境基準の達成率は83%で、前年より1%向上した。

油や化学物質の流出など水質事故は六百七十件発生し、九九年よりも百八十九件増加。上水道の取水停止も三十六件に上った。

BODの年間平均値でみた水質ベストワンは、河川水一昨当たり〇・五ミリ・リットルの尻別川、後志利別川(以上北海道)、姫川

(新潟)、川(三重)の四河川。

ワーストワンは同六、七ミリ・リットルの大和川(奈良)、大阪で、次いで綾瀬川(埼玉)、東京、鶴見川(神奈川)、中川(埼玉)、東京、猪名川(大阪兵庫)の順となった。

朝日新聞(朝・夕刊)  
平成13年7月7日(金)14版2面

### 1級河川水質 大和川が最悪 国土交通省調査

国土交通省は6日、昨年の全国の1級河川の水質調査結果をまとめた。ワースト1は大和川(奈良、大阪)で、前年1位だった綾瀬川(埼玉、東京)が続いた。都市部の川で水質浄化が進む一方、湖沼では改善が見られなかった。

全国109水系の1094地点を調査した。生物化学的酸素要求量(BOD)や化学的酸素要求量(COD)のほか、湖沼ではリン、窒素類の総量を計測した。

大和川のBOD平均値は1.7で、前年より0.7グラム、綾瀬川は6.5グラムだった。以下、鶴見川(神奈川)、中川(埼玉、東京)、猪名川(大阪、兵庫)が続いた。

調査が始まった1979年には綾瀬川が55.2グラム、大和川は19.7グラムだった。こうした都市部の川では、下水道や浄化施設の普及で水質が良くなっていた。

一方、湖沼(茨城)、琵琶湖(滋賀)、中海、安曇湖(鳥取)では、CODや総窒素、リンが緩やかに悪化傾向だった。

表-3 BOD平均値による河川の水質状況(ワースト5)

順位	河川名	都道府県名	地点数	環境基準 満足地点数	BOD平均値	BOD75%値
平成 12年	1 大和川(ヤマトガワ)	奈良・大阪	8	1	6.7mg/l	9.3mg/l
	2 綾瀬川(アヤセガワ)	埼玉・東京	3	2	6.5mg/l	7.1mg/l
	3 鶴見川(ツルミガワ)	神奈川	4	3	5.0mg/l	5.9mg/l
	4 中川(ナカガワ)	埼玉・東京	5	2	4.7mg/l	5.7mg/l
	5 猪名川(イナガワ)	大阪・兵庫	3	3	3.0mg/l	3.6mg/l

順位	河川名	都道府県名	地点数	環境基準 満足地点数	BOD平均値	BOD75%値
平成 11年	1 綾瀬川(アヤセガワ)	埼玉・東京	3	0	8.4mg/l	11.1mg/l
	2 大和川(ヤマトガワ)	奈良・大阪	8	1	7.2mg/l	9.2mg/l
	3 鶴見川(ツルミガワ)	神奈川	4	3	5.4mg/l	6.3mg/l
	4 中川(ナカガワ)	埼玉・東京	5	0	5.3mg/l	6.5mg/l
	5 牛淵川(ウシブチガワ)	静岡	2	1	3.0mg/l	2.9mg/l

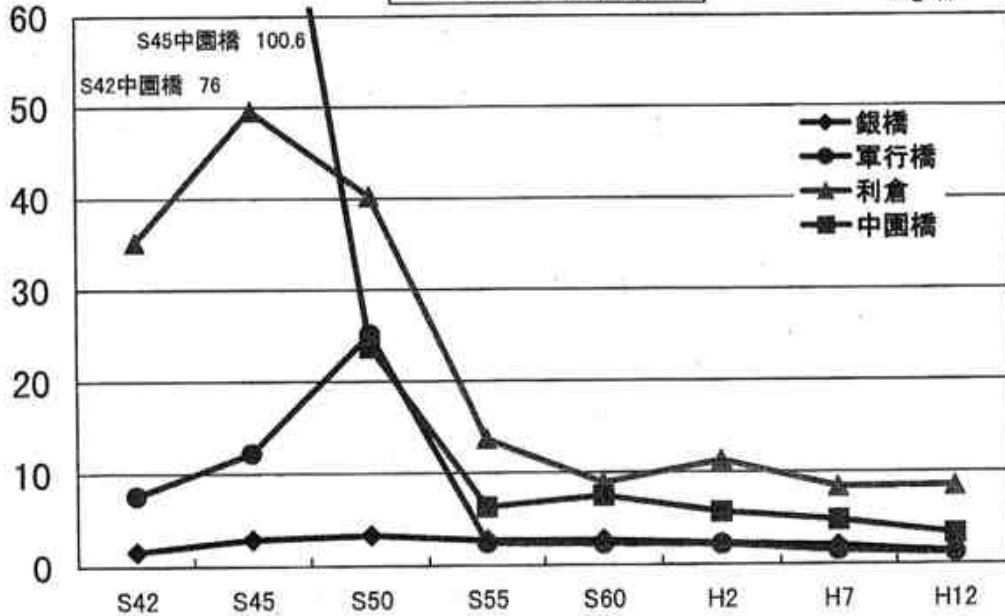
資料:国土交通省ホームページ <http://www.mlit.go.jp/>

水質調査は、「銀橋・呉服橋・軍行橋・利倉・中園橋・最明寺川流末・内川流末・駄六川流末」の8地点で実施しています。



⊗ 環境基準地点 ○ 一般地点 ◇ 水質自動監視所

BOD75%の経年変化



	S42	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12
銀橋(B)	1.6	2.9	3.3	2.7	2.7	2.3	2	1.3
軍行橋(B)	7.6	12.2	25.1	2.4	2.3	2.2	1.5	1.2
利倉(E)	35.2	49.6	40.2	13.7	8.9	11.3	8.4	8.5
中園橋(E)	76	100.6	23.7	6.3	7.5	5.7	4.8	3.3